開人会通信

プランニング開　Vol.49 ／ 2019 年 12 月発行

仙台市青葉区北山 1-5-22　TEL/FAX 022-276-8840
URL http://p-kai.com　e-mail kai2@alpha.ocn.ne.jp

ゴロゴロブーちゃん上演中

夢見るコッケちゃん上演中

2019 年 12 月 7 日（土）

糸あやつり人形劇団 みのむし

宮城県白石市　こじゅうろうキッズランド

2019年12月7日（土） 今年も残すところわずかとなったこの日、こじゅうろうキッズランドでは、**糸あやつり人形（マリオネット）劇団みのむしの公演**を行いました。日本において糸あやつり人形の劇団は数少なく、「みのむし」は糸あやつり人形では**国内トップ**の劇団です。

「みのむし」の代表の飯室さんは人形制作作家でもあり、劇で使用される**マリオネットは全て手作り**。有名なものでは、お母さん、お父さんたちは一度は見たことがある、NHK「**いってみようやってみよう**」**に登場**していた、**おさるの「ポッケ」**。

この日の演目は「**夢見るコッケちゃん**」。コッケちゃんは「スターになりたい！」と、生まれ故郷をあとにニューヨークへと旅立ちます。悪いおじさんに、手品で「胴切りショー」の箱に入れられたりのハラハラドキドキ珍道中を楽しみました。

次の日は**アトリエ自遊楽校**でも公演していただきました。「**ゴロゴロブーちゃん**」という演目で、何もしたくないブーちゃんが自分を操ってくれる人がいないかと願うお話。途中でイタズラねずみが天井を歩いたり引き出しから出てきたりで子どもたちは「こっちにいるよ！」と**大騒ぎ！大笑い！**しかし**ココという場面ではシーンと集中**。マリオネットのまるで生きてるような動きに子どもたちはお話の世界に没頭していきました。そんな子どもたちの反応を楽しみながら何より大人たちが大笑い。会場全体が「楽しいねえ」のほんわか空気に包まれました。

やはりゲームやネットの世界より、こういう**アナログの丁寧で優しい時間**って**子どもたちの心が育つ大事な時間**だよなあと思った温かい時間でした。

大爆笑の連続です

物語の世界に夢中

不思議そうに見る子ども達

おもしろいしあそばナイト「絵本読み語りライブ」

こじゅうろうキッズランド１周年記念イベント

2019年8月17日（土）・18日（日）

絵本作家 飯野和好さん

ワークショップ「あさたろうになってチャンバラごっこ！」
おもしろいしあそばナイト「絵本読み語りライブ」
ライブペインティング in おもしろいし市場

宮城県白石市　こじゅうろうキッズランド

2019年8月17日（土）・18日（日）の2日間、この8月で一周年を迎える、こじゅうろうキッズランドで、**「ねぎぼうずのあさたろう」**でおなじみ、**絵本作家の飯野和好**さんを迎えて**一周年記念イベントが開催**されました。

まずは17日（土）の午後からは**ワークショップ「あさたろうになってチャンバラごっこ！」**ということで、飯野さんと**子どもたちが刀や三度笠を作りました。**小さい子どもはお父さん、お母さんと協力し、小学生たちも飯野さんに教えてもらいながら、上手に作っていきます。出来上がった刀を自慢げに構える子どもたちと一緒に記念撮影！普段から、子どもたちとの工作イベントにも取り組んでいるキッズランドにとって特別なイベントになりました。

その夜、18時30分からは**「おもしろいしあそばナイト」**。キッズランドでは、閉館後に本物のパフォーマーやアーティストをお迎えしてのライブイベントを開催しています。今回はもちろん**飯野さんの「絵本読み語りライブ」**です。三度傘の旅人姿で、カンカラ三線を片手に浪曲風に絵本を語ります。飯野さんならではの独自の世界に、子どもも大人も引き込まれていきました。

次の日18日（日）はキッズランドの向かい側にある産直市場「おもしろいし市場」飲食エリアとキッズランド館内で**ライブペインティング**。いつの間にかギャラリーも増えて、飯野和好ワールド全開です！子どもたちも、一人、また一人と足を止め、飯野さんの描く姿をじーっと見つめていました。見ごたえ抜群の飯野和好さんの作品は1周年イベントに相応しく、素晴らしいものになりました。**是非一度、見に来てください。**

「おもしろいし市場」でライブペインティング

作った刀を構える

飯野さんと三度笠づくり

開館１年で10万人
白石キッズランド

くす玉を割って来館者10万人達成を祝う山田市長（左）と板橋さん一家

白石市の屋内遊び場「こじゅうろうキッズランド」の来館者が1日、10万人に達し、現地で記念セレモニーがあった。

節目の来館者となったのは、白石市白石一小1年の板橋七海さん(6)。山田裕一市長から記念品として1年間の無料パスポートと地元産野菜を受け取った。板橋さんは「パスポートをもらえてうれしい。滑り台で遊ぶのが楽しい」と話した。開館は2018年8月21日。山田市長は「年間8万人を高い目標として当初掲げたが、こんなに早く10万人を達成できるとは思わなかった。子育て支援の拠点として、人口減少に歯止めをかけたい」と述べた。

大型遊具や年代別の遊び場、交流スペースなどを備え、19年度は1日当たり平均で平日約160人、土日祝日約540人が利用。仙台市や近隣市町など市外が8割を占める。

工作コーナー

2019年8月18日（日）

こじゅうろうキッズランド１周年記念イベント
夏祭り・遊びの縁日

宮城県白石市　こじゅうろうキッズランド

8月18日（日）この日、もうひとつスペシャルなイベント**「夏祭り・遊びの縁日」を開催**しました。**「遊びが縁日のように軒を連ね、子どもたちが楽しめる場」**をテーマに、キッズランド館内にお祭り会場を特設しました。まさに**夏祭り**です。「NPOみやぎ・せんだい子どもの丘」に所属するスタッフ達が宮城県内各地からこのイベントのため、応援に駆けつけてくれました。「射的」、「スーパーボールすくい」、「ヨーヨー釣り」、「輪投げ」、「工作コーナー」に「駄菓子コーナー」と、遊びの出店がズラリと並びます。**参加費**はもちろん**無料**！出店で遊んだ分だけ、駄菓子がもらえる仕組み。子どもたちは夢中でゲームや工作を楽しんでいました。中でも「輪投げ」と「射的」が大人気で、最高得点をめざして友達と競ったり、はたまた、子ども達より、お父さんが熱中してしまったりと、**大盛り上がりの特別な夏祭りとなりました。**

「こじゅうろうキッズランド」は、ご来館いただきました皆様のおかげで素晴らしい1周年を記念するイベントを行うことが出来ました。

それから1か月も経たない、**9月1日**。「こじゅうろうキッズランド」は、めでたく**来館者数10万人を達成**することができました。開館当初は目標として8万人という数字を掲げましたが、来館者数は**当初の予想を大幅に超えた結果**となりました。現在、**東北で最も集客力がある子どもが遊ぶ施設**となっています。これからもこじゅうろうキッズランドの活動から目が離せません。

■こじゅうろうキッズランド ウェブサイト
https://www.sunpark.jp/kidsla

射的コーナー

工作コーナー

ヨーヨー釣り

おもしろいしあそばナイト

夢丸師匠の名演技

2019年11月23日（土祝）

親子で楽しむ こども寄席

宮城県白石市　こじゅうろうキッズランド

仙志郎師匠の太神楽に拍手

2019年11月23日（祝）こじゅうろうキッズランドで「**親子で楽しむこども寄席**」を**開催**しました。落語は語りや仕草の表現のみ。目の前に映像があるわけではありません。楽しむために**想像力を必要とする、落語は子どもたちにとって、とても良い刺激**となります。今回演じていただいたのは、**太神楽の鏡味仙志郎師匠**、**真打ちの三笑亭夢丸師匠**です。

まずは夢丸師匠による落語の楽しみ方講座。右に左にとしゃべり分けることで違う人物を表現すること、てぬぐいや扇子を様々なものに見立てながら物語を進めていくことなど、「落語って面白い!!」と子どもたちに伝わるような、楽しい解説でした。そして一番の決まりごとは、とにかく笑ってもらうこと！

会場が温まってきたところで、**仙志郎師匠の江戸太神楽**です。観客は驚いた表情で、技が成功する度に歓声を上げていました。まずは傘回し。鞠、金輪、ますます繁盛する桝など、回しているものには縁起良い意味があることなど、解説を加えながら進めていきます。そして五階茶碗という顎やおでこでバランスをとる技では、一段、一段と積み重なり、「それでは、次はここに…」と手にする度に、参加者は、ドキドキしながら見守り、成功する度に拍手が起こりました。

初めて落語体験

続いて、**夢丸師匠の真骨頂！落語を披露**して頂きました。「牛ほめ」というお話で、叔父さんを褒めるとお小遣いがもらえると思い込み、叔父さん自慢の家や牛を褒めていく与太郎のお話。巧みな語りと仕草で、観客を落語の世界へとじっくり引き込みます。気がつけば子どもから大人まで笑いに包まれていきました。

最後は、**子ども達の初めて落語体験**。子ども達の中から一人が高座にあがり、羽織を着て簡単な小咄を教えてもらい披露しました。日本の伝統文化に親しむ機会が減り続ける中、大切さを感じることができる体験でした。何より、笑いに溢れた時間はとてもいいものでした。

新田どんのブログより、――

生まれたばかりの子どもは笑わない。笑うということは後で育つこと。周りが笑っている空間だと笑うのです。大人が屈託なく笑っていると、子どもは安心して笑うのですよ。――